

福岡県西方沖地震
義援金を募ります
詳しくは2面をご覧ください

ふ・く・お・か 市政 だより

今月のおもな内容

- 福岡県西方沖地震
関連記事——1~3・12面
- 市成果指標
最新数値をお知らせします—4面
- 家庭ごみ処理10月から有料に—5面

人口/1,393,648人
男/669,583人 女/724,065人
世帯数/643,687世帯 (平成17年3月1日現在推計)

3月20日 福岡県西方沖地震

東・中央区震度6弱を観測 市内に甚大な被害



地震で損傷した屋根をビニールシートで覆った玄界島の家屋

市、復旧に全力で取り組む

三月二十日午前十時五十三分頃、福岡市の北西約二十キロの玄界灘を震源とする大地震が発生、九州北部を中心に大きな被害をもたらしました。地震の規模はマグニチュード7、震度は福岡市東区・中央区、前原市などで6弱、そのほか九州から関東地方の一部にかけて1~5強が観測されました。

福岡管区気象台が観測を開始した一八九〇年以降、県内で観測された震度は4が最大でしたが、今回はそれを上回り、観測史上最大のものとなりました。

震源地に近い福岡市では、四月五日時点で死者一人、負傷者六百三十五人の人的被害が発生。住家被害は二千三百三十八棟に上り、中でも西区玄界島では、全二百二十五棟の家屋の約八割が全半壊するなど被害は甚大で、すべての島民が市九電記念体育館などへ避難しました。

市は、同日午前十一時二十分に、災害対策本部を設置し、情報収集や自衛隊、海上保安庁への協力を得て玄界島住民の救出などに取組みました。

祝日で休業だった職員は、災害時のマニュアルに則し各職場へ自主登庁。鉄道の運休など交通網が遮断される中、地震発生から四時間半後には、全職員の約三割にあたる三百七十二人が到着し、被害への対応に奔走しました。

大地震の発生から数週間が経ち、市内の交通やライフラインは正常に戻っていますが、今なお被害に苦しむ多くの被災者がいます。現在、市は、見舞金や市税の減免、市営住宅への一時入居、各種相談窓口の開設などの被災者支援策の実施や、港湾・道路・下水道などのインフラ復旧に向けて、全力で取り組んでいます。

市長からのメッセージ

三月二十日の福岡県西方沖地震で被害を受けた市民の皆さんに、心からお見舞いを申し上げます。

一瞬にして市民生活に深いつめ跡を残したこの震災も、市民や企業の皆さんの努力のおかげで、交通やライフラインなどはいち早く通常の状態に戻ることができました。

しかし、一方でまだに多くの被災者の皆さんがご自宅に戻ることができず、避難所で不安な日々を送っておられます。市民の皆さんのご協力をお願いいたします。

玄界島の皆さんのための仮設住宅建設は今月末の完成を目指して着々と進んでおり、さらに被災者の皆さんの生活再建に向けた施策実施に全力を挙げて取り組んでいます。

引き続き、安全で安心して避難所を見舞う山崎市長



福岡市長 山崎 宏太郎

全島避難の玄界島



避難所で生活する玄界島の皆さん

市九電記念体育館に、界島の住民の皆さんが、今も避難生活を続けています。高齢者や、四百四十人もおられる玄界島の住民の皆さんは、避難所での生活を続けています。高齢者や、四百四十人もおられる玄界島の住民の皆さんは、避難所での生活を続けています。高齢者や、四百四十人もおられる玄界島の住民の皆さんは、避難所での生活を続けています。

住民に不自由な日々続く

市九電記念体育館に、界島の住民の皆さんが、今も避難生活を続けています。高齢者や、四百四十人もおられる玄界島の住民の皆さんは、避難所での生活を続けています。高齢者や、四百四十人もおられる玄界島の住民の皆さんは、避難所での生活を続けています。高齢者や、四百四十人もおられる玄界島の住民の皆さんは、避難所での生活を続けています。

経験ない規模の地震 突然の災害に一時混乱も

福岡市は、これまで大きな地震を経験したことがほとんどありませんでした。その福岡市を突然襲った地震で、市内は一時混乱に陥りました。都市の機能は比較的速やかに回復したものの、西区の玄界島と西浦地区、宮浦地区、東区の志賀島では被害が非常に大きく、余震が続く中、住民の皆さんは、避難所での生活を余儀なくされました。市は、災害対策本部を中心に、次々に入ってくる被害に関する情報の確認と対応に追われました。



東区一件、西区一件で、勧告を受けた人の数は百二十三人となっています。また避難所に避難した人の数は、最も多かった三月二十日夜の時点で二千七百五十九人、立ち入り「危険」と判定された建物の数は、全市では四百五十三戸に上っています。(数字はすべて四月五日現在)

都市の機能は速やかに回復

地震発生直後、地下鉄とJR、西鉄電車はいったん運行を停止しましたが、夕方には線路の点検を終え、全線で運行を再開しました。また路線バスの運行には、特に支障は出ませんでした。電話は一時つながりにくくなったものの、その日のうちにほぼ回復。水、電気、ガスについては、一部で短時間の停電や漏水、ガス漏れのほか、ガスの安全装置が作動して使えなくなるなどのケースはあったものの、市は、速やかに回復しました。

仮設住宅の建設始まる

三月二十九日、県は仮設住宅の建設に着手しました。「島に帰りたい」としてがんばらなくてはならない住民の皆さんは、仮設住宅の建設に着手しました。



寺田 至さん

「島に帰りたい」としてがんばらなくてはならない住民の皆さんは、仮設住宅の建設に着手しました。

「島に帰りたい」としてがんばらなくてはならない住民の皆さんは、仮設住宅の建設に着手しました。

市も対応に全力

市の災害対策本部は、地震発生から二十七分後に、本庁舎の七階にある災害対策本部室に設置されました。一方、区役所をはじめとした市の各所属では、登録してきた職員が、水道、住宅、道路、学校、港湾、福祉施設、市場、ごみ処理施設など、あらゆる分野で被害状況の確認策本部に報告されました。



地震発生当日の災害対策本部

午後零時四十分には、被害が甚大であることが明らかになった玄界島の救援のため、自衛隊への派遣要請と海上保安庁への協力要請を実施。午後五時に島からの避難を開始しました。市九電記念体育館での避難者の受け入れが完了したのは、午

問題は発生しませんでした。地震後、営業を停止していた百貨店や天神地下街のほか、多くの商業施設は、翌日には営業を再開しました。

◆「このケアホットライン「眠れない」「不安を感じる」など、心の不調に関する相談を電話で受けます(通話料無料)。

気軽にご利用を 行うボランティアを派遣します(屋根の修理など、危険を伴う作業には対応できません)。

これまでにない規模の地震でしたが、その仕組みは次のとおりです。地球の表面には「プレート」と呼ばれる岩盤がシクソールパズルのようにつなぎあはれており、プレートの同士は互いに押し合っています。そのためプレートの境目に近い場所では頻繁に地震が起こります。九州付近では日向灘にこの境目があり、福岡からは離れているため、福岡

市内の被害件数 (4月5日現在)

区分	東	博多	中央	南	城南	早良	西*	玄界島	計
人的死亡		1							1
人的負傷	62	147	180	45	22	75	94	10	635
家屋住家被害	150	85	54	28	25	35	1,580	181	2,138
家屋非住家被害	56	38	80	27	13	25	35		274
がけ崩れ	10	1	1	3	2	3	19		39
液状化	1								8

被災者救援のため義援金を募っています 【受け入れ場所】各郵便局 【口座番号】01740-0-24545 【加入者名】福岡市災害対策本部 ※5月31日まで、通常払込み・通常振替の料金が免除されます。